

ステークホルダーの皆様と価値観を共有し、 社会の豊かさ向上のためにソリューションを 提供し続ける企業をめざします

社会における矢崎グループの役割と責任

**社会に貢献するものづくりを追求することが、
矢崎グループの存在意義と考えています**

矢崎グループは1941年の創業以来、社是「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」に基づき、ものづくりを通じて社会に貢献したいという一貫した想いで事業を展開し、社会や地域の皆様とともに成長を続けてまいりました。

私たちが大切にし、そして追求し続けてきた「社会に貢献するものづくり」とはステークホルダーの期待・要請を慮り、製品やサービスを通じて社会に貢献するものづくりです。地球環境の保全のために、お客様の期待に応えるために、お取引先とともに成長するために、従業員やその家族の幸せのために、そして地域社会の発展のために、どのような貢献ができるのか、何が社会やステークホルダーの課題解決につながるのかを徹底的に考え、行動することです。

こうした行動の積み重ねこそが、社会からの信頼と期待に応えることにつながり、ひいては社是の実現につながります。矢崎グループはこれからも社是を経営の軸とし、社会に貢献するものづくりを追求することで、社会とともに持続的に成長します。

事業環境および社会課題の認識と対応

**社会の変革や社会課題の解決に
真正面から取り組みます**

自動車業界では100年に一度とも言われる大変革期を迎え、矢崎グループを取り巻く事業環境も刻々と変化しています。CASEやMaaSに代表されるような高度技術が急速に進展し、その技術を用いた社会課題解決への期待が高まるとともに、「モノからコトへ」といった価値変化なども進んでおり、時代の変革に対応できる仕組みづくりが急務となっています。

こうしたテクノロジーの進化により人々の生活が豊かになる一方で、SDGsに掲げられる17の目標が示すように、貧困・格差・差別などの人権問題をはじめ、気候変動や生物多様性の喪失、資源問題などの地球規模の社会課題が深刻化しています。これらの課題はそれぞれが関連し合い、さらに各国や地域が抱える課題と相まって一層複雑化しています。そしてこれらの課題に起因するリスクは経済・市場の安定化をも脅かすことから、グローバルに事業を展開する矢崎グループにとって決して看過できない課題となっています。

こうした大変革期において、社会課題が多様化・複雑化する事業環境をリスクととらえるのか、機会ととらえるのか。私はこれを機会と捉えています。矢崎グループは長い歴史の中で幅広く事業展開を行い、グローバルにネットワークを拡げてきました。こうして信頼関係を築いてきたステークホルダーの皆様と日頃から対話を重ねることで、いち早く社会の動きや期待、あるいは潜在的なリスクを知ることができるのは、矢崎グループの強みであると考えます。今後もリスクや不確実性への耐性・適応力を着実に備えた上で、豊かな未来の実現に向けて、社会課題の解決を積極的に担える企業をめざします。

CSR推進上の重点課題の特定

**重点課題は、矢崎グループが社会とともに
持続的に成長するための約束です**

企業の環境・社会側面の取り組み状況が企業評価や企業価値、さらには取引などに及ぼす影響も年々強まっています。矢崎グループは、ステークホルダーも多岐にわたることから、外部環境が自社に及ぼす影響と事業活動が社会に及ぼす影響を、リスクと機会の視点で検証し、しっかりと管理することが持続的な成長に不可欠であると考えています。



矢崎総業株式会社 代表取締役社長

矢崎 信二

そこで2018年度に、社会課題の解決と矢崎グループの持続的成長の同時実現を見据え、CSR推進上優先的に取り組むべき6つの重点課題を特定しました。特定に際しては、社会動向やステークホルダーからの要請などから網羅的に課題を抽出し、社是や事業戦略などと照らした上で、矢崎グループの強みを活かして、どのような社会課題の解決に貢献できるのか。一方で、事業活動が社会に及ぼす影響などを、経営陣だけではなく、関連部門の管理職、そして外部有識者を交えて議論を重ね特定しました。

- 社会の豊かさ向上のためのソリューション提供
- 健全かつ強固なサプライチェーンの構築
- 真に強い組織の確立
- 地域社会発展への貢献
- グローバル環境マネジメントシステムの強化
- グローバルなガバナンス、内部統制の強化

今回特定した重点課題は、矢崎グループの企業価値を高め成長していくために重要なものであり、社会とともに持続的に成長するための約束です。今後は特定した重点課題と中長期の事業戦略や各部門の方針・ミッションを紐づけ、目標管理を実施していきます。こうした取り組みの成果や課題、SDGsへの貢献などもCSR REPORTを通じてしっかりと報告していきます。なお、重点課題は社会動向や矢崎グループの方向性と照らして適宜見直してまいります。

持続可能な社会の実現に向けて ステークホルダーの皆様の喜びや幸せが、 私たちの成長の原動力です

先に述べた社会課題は、人類が豊かさを追い求め、拡大や成長を前提とした営みを続けてきたことが要因のひ

とつと言えるのではないのでしょうか。今後社会と企業が持続的に発展し、次世代に豊かな社会を残していくために、私たちが将来めざす方向性について社会の拡大や成長ありきで考えるのではなく、10年後、20年後、そして50年後といった長期的な視点の社会の将来像からあるべき姿をバックキャストして、その実現に向けて何が必要かを考えることが重要となります。これにより矢崎グループが持続可能な社会の実現に向けてどのように貢献していけるのかを考え、取り組んでいきます。

私は常々“Think globally, Act locally”が重要であると言いつけています。それぞれの国や地域が抱える課題の本質が理解できているのか、自分の考えを押し付けていないかを自問せよと。社会とともに持続的に発展していくためには、グローバルな視点を持ちつつも、それぞれの国や地域の文化や歴史、慣習、価値観を理解することがとても大切です。それぞれの国や地域が抱える社会課題や、その解決方法は必ずしも同じではありません。だからこそ、課題自体に目を向けるのはもちろんのこと、それぞれの課題の背景を理解し、それを出発点とすることが真の課題解決につながると考えます。

矢崎グループは、ステークホルダーの皆様に支えられ、今や45カ国で事業を展開し、世界中に約25万人の多様な従業員を擁するグループへと成長しました。事業規模の拡大とともに、社会やステークホルダーへ及ぼす影響、果たすべき役割や社会的責任は一層大きくなります。私たちはこれからも、社是を抛り所に、国際社会やステークホルダーの皆様と手を携えて、持続可能な社会の実現に、そしてSDGsの達成に積極的に貢献していきます。

そして、こうした取り組みを通じて、世界中の仲間や友達、家族に喜びや幸せを届けられたら、これより嬉しいことはありません。ステークホルダーの皆様の幸せや喜びこそが、私たちの成長の原動力です。